

■『「神戸から届けよう、つながろう!」東日本大震災復興支援チャリティーイベントin外大』の開催

1月22日、本学大ホールにて東日本大震災復興支援チャリティーイベントが開催され、本学学生や一般の方など約260名の参加があった。これは、東日本大震災からの早期復興を支援するため、神戸市内の小学校・児童と本学学生が連携・協力して開催したもの。当日は、一刻も早い復興と犠牲となられた方々への鎮魂の祈りを込めて、演劇や合唱などのパフォーマンスやボランティア活動体験報告などが行われた。



また、同イベントの後、実行委員会メンバーが宮城県仙台市立荒浜小学校を訪問し、「きりたんぼ鍋」の売上金など会場で集めた募金、合計123,346円を寄付金として贈呈した。

■神戸国際協力交流センターとの「連携協力に関する協定」とオープンセミナーの開催

4月24日、多彩な国際交流事業や、地域の国際化推進に向けた地域貢献事業に積極的に取り組んでいる神戸国際協力交流センターと本学との間で、いっそうの国際協力・交流の充実及び地域貢献の推進に資することをめざして「連携協力に関する協定」を締結した。

その一環として、より多くの方が参加しやすいように旧市民講座特別コースを「オープン・セミナー」として拡充し、中央区にある同センターで前期と後期にそれぞれ1講座を開講した。

■神戸市立博物館との「連携協力に関する協定」の締結とその連携協力事業の開催

5月10日、本学と神戸市立博物館は「連携協力に関する協定」を締結した。これは、「国際文化交流、東西文化の接触と変容」をその基本テーマとして様々な調査・研究事業を積極的に行うとともに、地域の発展に役立つ「知の拠点」として多彩な地域貢献事業に取り組んでいる同博物館と本学との間で、いっそうの国際協力・交流の充実及び地域貢献の推進に資することをめざして協定を締結したもの。

これにあわせ5月には共同企画セミナーとして『南蛮美術の光と影 泰西王侯騎馬図屏風の謎』への誘いを開催したほか、12月にも連携特別講演会「サンスーン宮殿と芸術コレクションードイツ史に翻弄された文化財の運命」を本学にて開催した。



■神戸市外国語大学・バスク大学第2回国際セミナーの開催

本学とバスク大学の合同国際セミナーは、スペイン・バスク州と日本との間に最初の友好親善のブリッジを架けるべく、学术交流協定に基づき開催されている。

第1回目の国際セミナーはスペイン・ビクトリア市でバスク大学が主催し、第2回目となる今回は8月6日～9日の日程で本学が主催した。この国際セミナーでは、異文化理解のうち、とくに「スポーツ文化」理解に焦点を当て、多くの研究者参加のもと議論を深めた。

また、これにあわせ稲垣正浩客員教授による特別講演会や「アフター・国際セミナー」等の開催を行った。



■短期派遣留学制度の充実

在学期間中に留学を経験する機会を提供できるよう、本学では短期派遣留学制度の整備を進めている。

北京語言大学へは従前より長期派遣留学を行ってきたが、今年度より新たに短期派遣留学制度も開始され、これにより本学学科のすべての語学圏への短期留学制度が整った。同大学への短期留学制度は夏休みを利用した4週間のプログラムで、今夏は3名が参加した。

今後もより充実した留学体制を整備していくため、交流締結先の拡充を推進していく。

■第3回若手チベット学研究者国際会議の開催

本国際会議は、チベット研究を志すチベット学の若手研究者が集まり研究発表を行う国際会議で、将来チベット学界の牽引力になることが期待されている。第1回会議は2007年にロンドンで、第2回は2009年にパリで開催され、9月3日～9月7日に、第3回会議がアジア地域で初めて本学で開催された。



会議では、ヨーロッパ・アメリカのみならずインド・ネパール・中国・日本から参加者約60名が集まり、チベット研究の更なる深化と新展開の模索に向けた議論と相互交流が行われた。

■楠ヶ丘会 創立60周年記念事業「パネルディスカッション」を開催

10月28日、本学大ホールにて、楠ヶ丘会 創立60周年記念事業「パネルディスカッション」が開催された。これは、神戸市外国語大学の同窓会組織である楠ヶ丘会が、2013年に創立60周年を迎えるにあたり、その記念事業の一環として開催されたもの。当日は、船山学長の講演や、「神戸外大、明日への飛躍のために」をテーマに教員・学生・OBの三者によるパネルディスカッションが行われ、本学の将来について熱い意見が交わされた。



■第2回全国大学生マーケティングコンテストを開催

12月15日、本学大ホールで第2回全国大学生マーケティングコンテストを開催した。今回で2回目となるこの大会は、本学生の運営委員会が中心となって自主的に企画・運営を行い、30社を超える地元企業・団体等や本学卒業生の荻野正明氏の後援・協賛も得て実施したもの。

当日は、全国から公募した予選出場19大学55チームから、関東・関西予選等を勝ち抜いた6大学8チームが、

『神戸ハーバーランドへの来客者数増加策』を課題に、創意工夫を凝らしたマーケティングプランを企画し、英語でプレゼンテーションを行った。審査の結果、昨年3位であった本学が見事に1位に選ばれ、日ごろの努力の成果を収めた。



■交流協定等締結校の拡充

広い国際的視野に立って活躍できる人材の育成をめざす本学では、世界各国の大学との間で、交流協定等を締結し、学術協力や学生交流を積極的に行っている。

今年には下記の5大学と交流協定等を締結（2012年12月現在：交流・交換協定28校、学術協力協定5機関）。今後も交流協定等の拡充を図っていく。

- ・1月 University of Regina（カナダ）との交換協定
- ・3月 青海民族大学外国語学院（中国）との学術協力協定
- ・6月 Jagiellonian University（ポーランド）との交流協定
- ・6月 University of Duisburg-Essen（ドイツ）との交換協定
- ・10月 上海師範大学（中国）との教員交換・交流協定

■各種講演会を開催

今年も様々な分野で第一人者として活躍されている方々の講演会を開催し、本学関係者のほか、一般の方々にも多数の参加をいただいた。

- ・1月26日、在中国日本大使秘書を務め、日本の中国語要人通訳の第一人者である客員教授岡田勝氏による講演会「日中関係と現在の中国情勢について」を開催。また、12月6日にも「中国の新指導部発足と日中関係の現状」をテーマに講演会を行った。
- ・6月4日、我が国におけるスペイン語同時通訳の第一人者として活躍されている比嘉世津子による講演会「映画の仕事を通して見るスペイン・中南米の社会」を開催。
- ・11月26日、総合地球環境学研究所の長田俊樹名誉教授による講演会「はたしてインダス文明は大河文明か」を開催。
- ・12月2日、風土と伝統的な物語の関係性を研究しながら、ストーリーテラーとして活動しているNick Hennessey氏による講演会「The Sleeping King and the Body of the World」を開催。